



### グローバルな視点を

グローバルという言葉はみなさんご存じだとは思いますが、「グローバル」という言葉はご存じでしょうか。グローバルとは、グローバルとローカルをかけた造語で、平たく言えば「世界に視野を広げるばかりでなく、まず自分の地域の伝統や文化、そしていいところをきちんと学ぶ、地域から学び、地域を育てることを子どもも大人も地域丸ごと考えましょう。」これがグローバルの意味です。



向茂組さんから寄付いただきました

ん？インターネットの情報社会の時代に、世界を相手に商売している日本人がグローバル？そうです。グローバルな細やかな視点の持てない人は、お客さんのニーズをつかみ、ましてや世界相手に決まていい仕事はできません。ふるさとの良さを日本の良さを語れない人は、信用されるいい仕事はできないと思っています。

外国へ行くと、必ず外国人は、日本のことを聞いてきます。私自身30歳前後に教育先進地域と呼ばれるアメリカの学校と教育委員会でホームステイをしながら研修をしたことがありますが、その時に日本の教育の歴史やシステムについてあまりに無知であることを痛感しました。結局学んだことは、外国の教育事情を鏡にして日本の教育を学び直すことの大切さでした。

大学の入学式で学長が言われたことは「君たちは大学で何を学ぶのか。世界を学ぶことではない。今まさに君たちが入ったこの大学で学び、今君たちがまさにいるこの場所の歴史を学び、ここから世界に発信するために学ぶのだ」と言われたことを今でも鮮明に覚えています。



和太鼓の芸術鑑賞（あすか組）

本校は、スキルアップや暗唱等いくつかの学力向上対策も実施していますが、それは基礎学力の向上により自分に自信を持たせ、地域の担い手となる教養ある人材を育てるためです。

今年本校でもPTAの会則が改訂されましたが、「PTA活動って必要なのか」という議論がよく起こります。家庭教育には、3つの資本があるとよく言われます。経済資本、社会資本、文化資本。この3つに支えられて家庭は成長していきます。一つ目の経済資本は収入。二つ目の社会資本は、人と人がつながること。入学した我が子だけではなく、いっしょに入学した学年の子たちにも目が向く、そういう親になってほしいし、子どもたちにもいろんな大人を見てほしいです。そして、三つ目の文化資本は、家族旅行や公民館・自治会等地域の活動とまさにこのPTA活動ではないでしょうか。

親子活動や運動会、ハッピーコンサート、マラソン大会等の行事、研修会、資源回収、地区懇談会、そんなPTAの事業が、子どもと子ども、大人と大人をつなぐ文化資本になっています。保護者にとってPTA活動は、子どものためのものですが、自分のためでもあると言えます。

ぜひ、経済資本・社会資本・文化資本をバランスよく取り入れて家庭を豊かにしてください。そのことが、子ども・保護者・地域と学校がWIN-WINの関係になれる最高のカタチだと思っています。堅い話になってしまってますみません……。

2学期は、多くの学校行事があり、保護者の皆様にはいろんな視野からご意見を頂戴しました。おかげ様で本校の強み、弱み、そして学校改善のヒントをたくさんいただきました。我が子の通知表やテストは、決して満点ではなかったかもしれませんが、でも、毎日勉強して、一生懸命行事に取り組んで、時には友達とけんかもしながら、日々まさに自分のいる場所でがんばった本校の子ども全員に満点をあげたいです。

2学期最後の学校便りとなりましたが、日々の学校教育の中で連絡ミスや教職員の対応がいたらなかった点があったことをこの場を借りてお詫びいたしますとともに、保護者の皆様のあたたかいご支援とご協力に心より御礼申し上げます。

令和2年、子（ねずみ）年、どうぞよい年をお迎えください。



## 11月・12月の子どもたちの様子



6年生はパワーポイントを使った、戦時中生活のまとめ発表会



3年生は、一心不乱に「書き初め」練習



4年生は、児童集会でパワー全開の発表

